

4

APRIL  
2013

能楽公演  
静の舞



こ

が

古河

広  
報

No.91

今月の特集

- 施政方針 2
- 組織機構の一部改正 6
- 高齢福祉サービス 10

まちの話題

- 認知症予防講座 等 16

# 平成25年度 施政方針 (一部抜粋) “市民が主役のまちづくり”



菅谷憲一郎市長は、平成25年第1回古河市議会定例会の開催にあたり、市政運営の基本方針ならびに施策の一端を述べました。その内容を紹介します。

## はじめに

昨年12月に行われました市長選挙において、皆さまのおかげで市長とさせていただきますことに心から感謝申し上げます。

私の目指す行政の基本は「市民が主役のまちづくり」です。古河市の健全な発展のために、職員とともに全力を尽くしてまいります。



施政方針を述べる菅谷市長

## 市政運営の基本方針

古河市は平成17年9月に合併しました。もうすぐ合併10周年の節目になりますので、これまでの行政を検証・継続・改善し、市民の皆さまの期待に応えられるよう堅実な市政運営に努めてまいります。

そのためにも、ハード面の整備はもちろん必要ですが、それと同じ比重でソフト面の充実にも行政の軸足を置かせていただきます。

特に、「教育」「福祉」「環境」政策には、一層力を入れてまいります。

古河市の高齢化率は、昨年10月現在で22.6%になりました。県平均23.8%や全国平均24.1%には及びませんが、合併時の17.4%に対し、わずか7年で5%も伸びています。近隣に比べ高齢化のスピードが速くなっています。



若者が集うまちづくりを進めます

合併時の古河市の総人口（県統計）は14万5,265人でした。現在14万2,301人（平成25年1月現在）です。約3,000人減っています。

15歳から64歳までの生産年齢人口が約8,000人減り、8%の減です。20歳から39歳までが約4,600人の減ですので、合併7年で若者が12%減ってしまいました。

私は政治家を志した時から、若者に選ばれるまちづくりを目標に、魅力ある子育て支援と教育の充実を施策の第一としてきました。

私は若者の古河市への移住と定住を促してまいります。若者が増えればまちの経済が活性化し、税収が増えます。安心して老いられるまちづくりは、若者に選ばれるまちづくりから始まります。



学校の耐震化を進めます

平成25年度の予算編成は東日本大震災の教訓を踏まえ、学校施設の耐震化を前倒して進めることにしました。市政懇談会等で市民の皆さまの要望が多い道路整備等についても、積極的に進めます。

これまでの継続事業に加え、新規事業についても十分精査し、メリハリのついた予算案としています。組織のスリム化と効率化を図るため、スクラップ&ビルドを進め、新年度から3部4課を減らします。子ども部を新設し、子育て支援をさらに充実させます。学校教育の強化を目的に、教育委員会を学校教育に特化し、社会教育部を市民学習部として市長部局へ移管します。



子育て支援をさらに充実させます

125億円の総合的文化施設の建設につきましては、計画の白紙撤回をいたします。現在、撤回に伴う事務処理を進めています。古河駅東部土地地区画整理事業につきましては、埋立地に巨大な公共建築物を建てることなく、例えば合併記念公園事業等で保留地処分を進めるつもりです。平成25年度は、そのための調査を行います。事業の財源は合併特例債を活用したいと思います。合併特例債の期間延長について、今後、市議会のご協力をお願い申し上げます。



要望の多い道路整備を積極的に進めます

## 主要施策



### 1. 教育文化

#### ○学校の耐震化

釈迦小学校をはじめ、四つの小中学校の耐震化工事を行います。

#### ○快適な授業づくり

全小中学校のクーラー設置を4カ年計画で進めます。平成25年度は、設置に向けて調査を行います。

#### ○校庭散水設備の敷設

平成25年度に調査を行い、今後4年間で整備する予定です。

#### ○ティーム・ティーチング授業

中学校での実施に向けて準備を進めます。

#### ○新学校給食センター

平成26年度中に開設できるよう建設工事を進めます。

#### ○市民学習の向上

各種施設の整備等を進め、学習環境のさらなる充実に努めます。

### 2. 福祉健康

#### ○福祉政策の充実

地域福祉の指針となる地域福祉計画を全面的に改定します。少子高齢化の進行や地域連携の希薄化、災害時の要援護者支援など、社会の求めに対して柔軟に即応できるよう今後2年をかけて計画を策定します。

#### ○子育て支援

古河第一小学校と古河第六小学校の児童ク

ラブを新たに整備します。

地域子育ての拠点として、地域子育て支援センターを第三保育所と私立保育園4カ所に加え、第四保育所にも設置します。

延長保育については、保護者からのアンケート結果を踏まえ、保育時間の朝夕30分ずつの延長を平成25年度内の実施に向けて取り組みます。

#### ○妊産婦への支援

安心して出産ができるよう、県医療福祉費支給制度で対象とならない妊産婦に対して、市独自の医療費助成を行います。

#### ○いきいき高齢者対策

70歳以上の歩行不安な人を対象に、シルバーカー購入費用の一部を助成します。

#### ○高齢者の肺炎球菌予防対策

70歳以上の人へのワクチン接種の費用を助成します。



▲福祉政策の充実

### 3. 生活環境

#### ○廃棄物不法投棄対策

条例等の改正を含め厳正に対処をします。

#### ○ごみ減量化とリサイクル推進

市内全地区で古着類の月2回の分別収集を

実施します。紙類の分別収集は、総和・三和地区に加え、古河地区でも実施する予定です。

#### ○公共施設の耐震化

中央公民館や三和公民館、総和庁舎本館は築40年が経過しています。小中学校の耐震化を優先しながら、今後の対応策について検討します。

#### ○安心安全な水の供給

上水道の普及率が75.5%と極端に低い三和地区を中心に、配水管工事を加速度的に進める方針です。

古河・総和地区の石綿管敷設替え工事を順次進めていきます。

### 4. コミュニティ行政

#### ○広報広聴活動の充実

広報紙とお知らせページをより充実させ、ホームページとともに、見やすく内容が魅力あるものになるよう努力します。

#### ○市政懇談会

より小さな単位で数多く開催する予定です。会場での自由な意見・要望に対処できるよう、開かれた懇談会づくりを心掛けます。



▲市政懇談会の様子

#### ○コミュニティ団体

未設置地区に対して早期の設立を促します。

### 5. 産業労働

#### ○道の駅「まくらがの里こが」

平成25年7月オープン予定です。経済効果が地元で最大限還元されるよう努めます。

#### ○日野自動車古河工場

関連企業や従業員等の受け皿となる環境整備を進めます。



▲道の駅「まくらがの里こが」(完成イメージ)

### 6. 都市基盤

#### ○筑西幹線道路

新4号国道から西側への延伸は、県道境・間々田線までを2車線で整備します。平成25年度中に地元説明会を開催するとともに、測量調査や設計に取り組みます。

#### ○野木駅から新4号国道に直結する幹線道路

上大野から上片田に抜ける道路新設は、平成27年度開通を目標に、用地取得および一部区間の工事を行います。

# 古河市の組織機構（市役所の課・室）が一部変更になりました

今回の組織変更は、組織のムダをなくし、職員数の減少に対応しつつ、「子育て環境の充実」「学びの場の機能強化」「安心・安全の確保」等を効率的に行うことのできる組織づくりにポイントをおき、市役所全体を機動力のある組織としました。

【問】 総和庁舎(本庁) 行政管理課 ☎92-3111



## 組織づくりのポイント

### 1. 子育て環境の充実

#### 【子ども部の新設】

児童福祉や子育てに関連した取り組みを集中して行う「子ども部」を新しく作り、これまで以上にきめ細やかな対応ができるようにしました。

これに伴い、子ども福祉課の業務は「健康の駅」から「総和庁舎1階」に移転します。

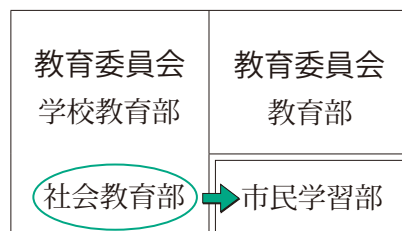
#### ●子ども部の主な業務

子ども手当、児童手当等児童福祉のこと	子ども課
保育所、乳児託児等子育て支援のこと	子育て支援課
幼保一体等子どもに係る政策のこと	子ども政策室

### 2. 学びの場の機能強化

#### 【社会教育部を市長部局へ】

子どもたちが、学びに専念できる学校づくりと、市民一人一人が、日々のあらゆる機会を利用して学ぶことのできる地域社会づくりを目指した組織体制として、教育委員会を学校教育に特化し教育の充実を図るとともに、スポーツや生涯学習など市民生活とつながりが深い社会教育部門は、市長部局へ移管します。



### 3. 安全・安心の確保

#### 【安全部門の集約】

東日本大震災後、防災部門の強化を図り創設した「危機管理課」と、市民生活の安全を守る「交通防犯課」「消防保安課」を総務部に集約し、あらゆる事象に迅速で的確な対応ができる組織とし、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。





## ■以下のように変わりました

※組織編成(再編、統合、所属)や名称に変更があった部署のみ掲載します。

旧体制		新体制			
部	課・室	部	課・室	庁舎等場所	
企画調整部	危機管理課	総務部	危機管理課	変更なし	
	企画課男女共同参画室		総務課男女共同参画室	総和庁舎3階	
政策推進部	道の駅推進室	企画部	企画課道の駅推進室	総和庁舎2階	
総務部	総務課行政管理室	総務部	行政管理課		
	契約検査課	財政部	契約検査課		
市民生活部	人権推進課	生活環境部	自治振興課人権推進室	変更なし	
	総合相談室 (古河庁舎・三和庁舎)		市民サービス室 (古河庁舎・三和庁舎)		
環境安全部	交通防犯課	総務部	交通防犯課	総和庁舎2階	
	消防保安課		消防保安課	変更なし	
	環境政策課	生活環境部	環境課	三和庁舎1階	
	生活環境課				
健康推進部	健康推進課	健康福祉部	健康づくり課	変更なし	
	保険年金課		国保年金課		
	保険年金窓口室 (総和庁舎・三和庁舎)		国保年金窓口室 (総和庁舎・三和庁舎)		
生活福祉課	生活保護課				
福祉部	障害福祉課		障がい福祉課		
	高齢福祉課地域包括支援センター		地域包括支援センター		
	子ども福祉課	【新設】 子ども部	子ども課 子育て支援課 子育て支援課子ども政策室	総和庁舎1階	
都市計画課	都市計画課	建設部	都市計画課	総和第二庁舎2階	
公園緑地課	道路整備課		道路課	総和第二庁舎1階	
建設部	道路管理課	上下水道部	下水道課		
	下水道総務課				
上下水道部	下水道工務課	【新設】 市民学習部	生涯学習課	変更なし	
	生涯学習課		施設管理課		
教育委員会 社会教育部	社会教育施設管理課		文化課		
	文化課		スポーツ振興課		
	社会体育課				

# 特集 ② 組織機構の一部改正

■各庁舎の配置が変わりました(名称・場所の変更があったフロアのみ紹介します)

緑の文字は名称変更した課を、■で塗りつぶした個所は場所の変更があった課を示しています。

## 【総和庁舎】

▶ 総和第二庁舎



### 第二庁舎

2階	契約検査課	地籍調査課	都市計画課
1階	道路課		建築指導課
	玄関		

### 3階

管財課			
会議室	法務対策室	男女共同参画室	総務課 選管等事務局

### 本庁舎

#### 2階

消費生活センター	商工政策課	物産振興室	観光振興課		市民活動支援室	自治振興課			トイレ	市長会議室			
危機管理課	消防保安課	交通防犯課		副市長室	行政管理課	広報室	名崎工業団地推進室	道の駅推進室	企画課	秘書課	副市長室	市長公室	市長室

#### 1階

市民課		国保年金窓口室	待合スペース		印刷室	トイレ		
会計課		市民サービス課	市民相談センター		人権推進室	子ども課	子育て支援課	子ども政策室



※営繕住宅課は古河庁舎1階に、情報管理課は総和第三庁舎へ移転しました。



◀ 総和本庁舎



## 【古河庁舎】

2階

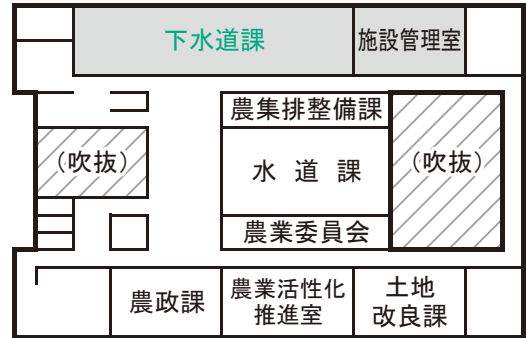


1階

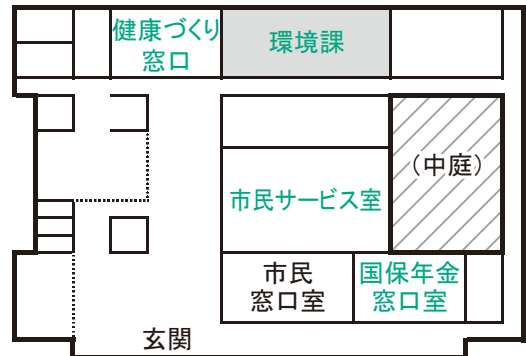


## 【三和庁舎】

2階



1階



## 【健康の駅】

1階



※子ども福祉課は  
総和庁舎1階に  
移転しました。

◀総和福祉センター  
「健康の駅」



▲三和庁舎



# 高齢者シルバーカー 購入費助成事業が始まります

足腰の衰えから外出を控えている高齢者が、外出し、いきいきとした生活が送れるように、4月1日からシルバーカー\*を購入した費用の一部を助成します。

## 詳しい内容を紹介します

**対象者** 市内に住所を有し、70歳以上で歩行に不安のある人

**助成額** ●購入金額の2分の1に相当する金額で、上限額は5,000円まで(100円未満の端数は切り捨て)  
●1人につき1台1回限り

### 対象となる品

- ①購入するシルバーカーは、4輪車で荷物入れの機能を有するもの
  - ②S G規格適合商品
- ※介護保険福祉用具貸与の対象用品は、助成の対象外になります。

### 申請に必要なもの

- ①古河市高齢者シルバーカー購入費助成金申請書(窓口にあります)
  - ②購入金額および支払いを証する書類
  - ③購入したシルバーカー等の仕様が確認できる書類
  - ④印鑑
  - ⑤振込先金融機関名、預金種別、口座番号および口座名のわかるもの
- ※購入した日から1年以内に申請してください。



※**シルバーカー**……自立歩行のできる人の歩行を補助する手押し車のこと

- 歩行が困難な人や手にけがや麻痺のある人の使用は危険です。
- ハンドル・ブレーキ・キャスター等の形状や機能、歩きやすさ、重さ等、選び方にはポイントがあります。体の状態や使用目的により自分にあったもの、安全性の高いものを選びましょう。購入の際は自分で実際に試して、お店の人によく相談することをお勧めします。



## 高齢者等通院交通費助成事業および白内障補助眼鏡、補聴器購入費等助成事業

4月1日から下記のとおり改正されます。

事業名	対象者	助成基準額	
		現行	改正後
古河市高齢者通院等交通費助成事業	在宅で下記のいずれかに該当する人 ①70歳以上 ②65歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯 ③要支援・要介護認定者 ※他制度利用者は該当しないことがあります。	医療機関へ通院の際のタクシー運賃の2分の1に相当する額。 1カ月8回(片道を1回)までの利用で、 <b>上限6,000円</b>	医療機関へ通院の際のタクシー運賃の2分の1に相当する額。 1カ月8回(片道を1回)までの利用で、 <b>上限5,000円</b>
古河市白内障補助眼鏡、補聴器購入費等助成事業	65歳以上 (白内障補助眼鏡) 白内障の手術後に視力矯正のため、補助眼鏡が必要と医師が認めた人 (補聴器) 身体障害者の手帳の交付を受けられない人	(白内障補助眼鏡) <b>補助眼鏡用レンズ 2万円まで(1回のみ)</b> <b>特殊眼鏡用レンズ 4万円まで(1回のみ)</b> 手術後1年以内に購入したものに限り。 (補聴器) <b>2万円まで(1回)</b> <b>再助成は、5年を経過後</b>	(白内障補助眼鏡) <b>補助眼鏡用レンズ 購入金額の2分の1以内で、限度額1万円</b> <b>1人1回1対限り</b> 手術後1年以内に購入したものに限り。 (補聴器) <b>購入金額の2分の1以内で、限度額1万円</b> <b>1人1回1台限り</b>

### 全ての申請窓口

- ・高齢福祉課（総和福祉センター「健康の駅」内）
- ・市民サービス課（総和庁舎）
- ・市民サービス室（古河・三和庁舎）



【問】 高齢福祉課（総和福祉センター「健康の駅」内） ☎92-5838



# ハチモモの次は 桜を見に行こう！

～市内の桜の名所をご紹介します～



## 四季の径 <sup>みち</sup>

約2キロメートルにわたる桜並木は、訪れる人を魅了します。また、JR宇都宮線沿いに立ち並ぶ桜は、電車の車窓から楽しむことができる市内でも唯一の名所です。

▲思わず足をとめて写真を撮りたくなるほどの桜が満開に花を咲かせます



## 古河第五小学校前 ▶

通称観光道路と呼ばれています。古河第五小学校から古河ゴルフリンクスまで続く桜のトンネルは、春の日差しを浴びながらゆっくり散策するのにおすすめです。





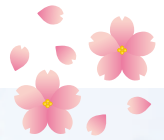
## ◀ ネーブルパーク

春風に舞う桜の花びらが池の水面を彩ります。例年、芝生広場ではレジャーシートを広げて花見を楽しむ家族でにぎわいます。



## 中央運動公園 ▶

約400本の桜が咲き誇ります。また、敷地内には鮮やかな芝桜のじゅうたんが一面に広がり、春の訪れを全身で感じられるスポットです。



## 三和ふるさとの森 ▶

敷地内では、桜を眺めながらバーベキューが楽しめます。また、遊具近くに咲く桜は、子どもたちの憩いの場となっています。



今年はずいぶん、市内の桜を見に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



# 消 防 春 季 点 検 式

2月24日、古河市消防春季点検式が中央運動公園で行われました。

市民の生命・財産を守るため、仕事をもちながらも、昼夜を問わず献身的に活動している消防団員が勢ぞろい。

式では、人員・服装・姿勢・機械器具などの点検に始まり、伝統の木遣り歌やはしご乗り、まとい振り、幼年消防隊による演奏、放水訓練が披露されました。

会場を総合体育館へ移した表彰式では、表彰状や感謝状の伝達を行いました。



規律正しい整列の姿



名崎保育園・幼稚園幼年消防隊による演奏



はしご乗り



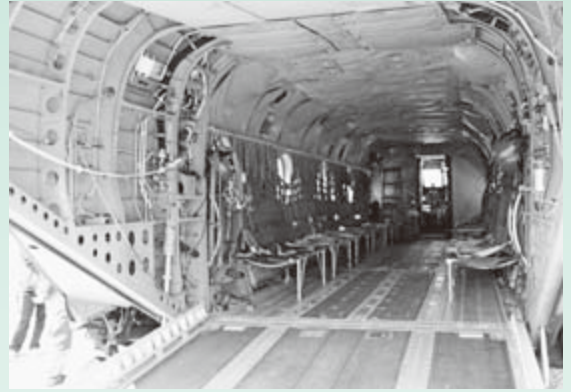
表彰式



放水開始



▲飛行訓練に使用した自衛隊CH-47機



▲CH-47機の後方部分

## 自衛隊航空機飛行訓練



3月16日、陸上自衛隊古河駐屯地による飛行訓練が実施されました。当日は、天候もよく古河市上空約600メートルを決められたコースに沿って飛び、渡良瀬遊水地や市内の様子を眼下にしながら、真剣な飛行訓練が修められました。



▲古河駅付近を旋回しました

▶丘里工業団地が眼下に  
広がります



▲広大な渡良瀬遊水地上空も飛行しました



▲市内を西方に見渡すこともできました

注目!

# まちの話題

## 認知症予防講座 3/2

とても分かりやすかった講演会



▲認知症予防体操の紹介もありました



▲認知症介護体験の発表もありました

◀会場で講演する山口晴保氏

高齢者にとって関心の高い「認知症」と予防方法。正しい知識を身に付け、認知症の高齢者やその家族を地域で支えることが必要です。当日の会場、とねミドリ館には約800人が参加。テレビなどでも有名な群馬大学院教授・山口晴保氏の講演では、認知症を予防するライフスタイルを詳しく学びました。

## 古河朝市 3/3

駅前は大盛況



恒例となった古河朝市を古河駅西口駅前で開催。34店が出店し、会場はたくさんの人でにぎわいました。今回は地元の新鮮野菜や那珂湊の海産物の他、友好都市(栃木市・行田市・太田市・佐野市)のB級グルメが登場。やきそばやゼリーフライ、イモフライなどの店も並びました。



▲B級グルメも大人気



▲ゆきとのくんも登場



▲売り切れが続出しました



## イチゴ摘み取り体験 3/2

完熟イチゴを満喫



▲甘くておいしいイチゴ

◀たくさん食べました

古河市の農業後継者団体・いばら4Hクラブ(三和地区)が、大和田の中島農園で「イチゴ摘み取り体験」を開催。市内の親子約100人が参加し完熟イチゴを楽しみながら、交流しました。ハウス内のイチゴの品種は「とちおとめ」。参加者たちは大きくて甘い完熟の味を堪能しました。

## Men'sカフェ講座 3/2

プロの味に挑戦!



▲プロの入れ方を学びました

◀クッキー作りにも挑戦

男女共同参画の促進に、ご夫婦やカップル、男性のみでも楽しめる講座を開催。市内から単身男性など24人が参加し、クッキーやスコーン作りとプロのコーヒーの入れ方に挑戦。助け合いながら作り上げ、プロが入れた味と飲み比べたりするなど貴重な体験をしました。

## 小学生古文字書道展

小学3年生～6年生がみんな書きました



昨年12月から3月にかけて、市内の小学生の書道作品が展示された「第22回古河市小学生古文字書道展」。古河・総和地区の小学校の作品は篆刻美術館で、三和地区の小学校の作品は三和資料館に展示。期間中に5,153点全ての作品が、優劣をつけずに展示されました。

## 珠算1級に合格

見事難関を突破しました



▲西原美里さん 珠算1級に合格

日本商工会議所主催の第197回珠算能力検定試験(2月10日実施)で、西原美里さん(古河六小・2年)が珠算1級に合格。西原さんは小1から珠算学校に入り、毎日2～3時間猛練習を続け、今回の快挙となりました。

## 全国大会に出場

○第34回全日本レディースソフトテニス決勝大会(有明テニスの森公園)  
塚原菜穂子さん、佐藤典子さん【三和ソフトテニスクラブ】

# ふる里日記

古河で育った  
染谷さんのふる里の思い出

気がつけば世界の舞台に立って戦っていました。

私の実家は古河市にあります。高校は埼玉の学校へ進学しましたが、実家から通学していました。大学生になり寮生活をするため、東京へ出ました。慣れない環境、慣れない寮生活、1年生のころは気を休める時間がほとんどなく、古河へ帰りたと思うこともたびたびありました。休みに、実家へ帰省した時の安心感。

変わらない景色や人の暖かさ…心が落ち着きました。そうして、古河市から元気をもらい、また東京へ戻りました。そして、3年生になり、いろいろなことに慣れ、練習にも力が入りました。



▲第21回世界空手道選手権大会女子68kg級で金メダル

昨年の11月にパリで行われた世界空手道選手権大会では、優勝をすることができました。自分に優勝する実力があつたかはわかりません。しかし、世界で一番練習をしてきた自信はありました。

私は幼いころから不器用で、人の倍は練習をしてきましたが、なかなか1番を取ることができませんでした。大学に入ってから、顎の骨折など、今まで経験したことのない大きなけがをしたりと何度も壁にぶつかりました。それでも、私がそこで終わらずがんばることができたのは、両親を初めとする周りの人に支えていただいたからです。

“みんなに恩返しをしたい。”その思いから、がむしゃらに練習に打ち込むことができ、世界のコートで金メダルを取っていました。これでやっと応援してくれている人たちに少しは恩返しができる。そう思うと感謝の気持ちとともに、涙が止まりませんでした。

私の好きな言葉の一つに、“努力はいつか素質を超える”という言葉があります。どんなに不器用でも自分を信じて、努力をすれば夢は叶うと信じています。もう4年生。女子の主将も任されました。学生最後の目標は、全日本個人戦で優勝をすることです。そのためにも、これからさらに努力をしてまいります。そして、帰省した時にいつも元気をくれる古河市へ次は、逆に元気を与えることのできる人間になりたいです。



帝京大学空手道部  
女子主将 染谷香予さん

## 図書館のオススメ

### ◇一般書

#### ・ふたり、幸村

山田正紀 著

真田信繁の“異名”とされる真田幸村は、信繁とは別に存在していた？ 戦乱期、真田家で早飛脚をつとめる少年雪王丸は、数奇な運命に導かれ真田幸村と名乗り、戦国の世に羽ばたく…。出版社…徳間書店 分類…Fヤ



#### ・超・超面白くて眠れなくなる数学

桜井進 著

クラスに同じ誕生日の人がいる確率、車のナンバーで倍数判定、素数のワンダーランド…。数学は身近なところにひそんで



### ◇児童書

#### ・くまだっこ

デイヴィッド・メリング 作  
だっこが大好きなくまくんは、自分の好きなだっこを探しているいろんなものにだきついてみるが、なかなか見つからない。大きくてふかふかで気持ちがいい「くまだっこ」は見つかるだろうか？ 読み聞かせにぴったりのしあわせ絵本。出版社…小学館 分類…Eク

#### ・ゆうれい回転ずし本日オープン！

佐川芳枝 著

小学4年生の潮くんが招待されたのは、ゆうれいと妖怪がやってるといふ、ちょっと変わった回転ずし屋。天にも昇るおいしいおすしで、みんな笑顔に…なれるかな!? 出版社…講談社 分類…913ユ 古河図書館

## ～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

### 注目企業人! 「志を高く持って仕事をしています」

わたなべたくや  
渡辺拓也さん 31歳・東山田 (有)ミナミ スズキアリーナ三和 勤務

自動車の販売からメンテナンスまで総合的に行う会社で、主に整備や車検、修理全般を担当しています。また、ロードサービスの責任者として活躍する渡辺さんは、時間を問わず入ってくる救援依頼にもすぐに現場に駆けつけます。仕事で最も大切にしていることは「お客さまとのコミュニケーション」。修理の際に、お客さまから指名をもらうことが一番のやりがいにつながると素敵な笑顔で答えます。現在は、1級自動車整備士の資格取得を目指し、参考書を片手に勉強しながらモチ

ベーションを高く持って仕事に励んでいます。趣味は、ヒップホップダンスとDJ。ダンスや音楽を通して、「人前で表現すること」や相手の反応をよく見ながらパフォーマンスをする「観察力」が、今の業務に生かされていると話してくれました。

■プロフィール  
入社10年目。休日は車や電車で雑誌に紹介されたトレンドスポットに出掛けることが多いとか。



# 古河ヒストリー

## ◎もうひとつの忠犬ハチ公像

年老いた犬が一匹、おなかをぺたりと地面に付けて伏せています。垂れた左耳、穏和でありながらどこか寂しげな表情。両手に乗るほどのかわいサイズのこの口絵の銅像、そのモチーフはあの有名な秋田犬の「忠犬ハチ公」なのです。誰もが知っている渋谷駅前銅像とは少し様子が異なりますが、亡くなった飼主を駅の改札口で待ち続けた健気なハチの姿を、この像はより生き生きと表現しているようにも思えます。

さて、このもうひとつのハチ公像、なんと最近になって、ここ古河の旧家に伝えられてきたということが判明しました。あのハチ公と古河との関係、少々気になります。そこで、その文化的なつながりが明らかになった経緯を含めて紹介します。

調査のきっかけは、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館の学芸員、松井圭太氏から寄せられた電話にさかのぼります。今年、平成25年はハチが誕生して90年という節目の年にあたり、松井氏はこの秋開催する記念の展覧会のために、ハチ公の歴史や文物を調査中でした。そして、この像が古河にあるかもしれないという情報をもとに、当館に照会し、所在調査を依頼されたのです。

この臥像の作者は、安藤照(1892～1945)。渋谷駅の忠犬ハチ公像を

手がけた彫刻家です。安藤は、突然の病で亡くなった主人・上野英三郎教授を待つために渋谷駅に通うハチの話を知り、そのことをきっかけに、この像を制作することになります。1934年、完成した像は、渋谷駅前に設置され、盛大な除幕式も開催されました。また、同じころ、ハチとの面会を望んだ大正天皇の後・貞明皇后のために、安藤はもうひとつのハチ公像を作りました。それがこの小型の臥像で、天皇家へは3体が献上されたそうです。

ところで、当時、安藤家には長年勤める家政婦が存在していました。病弱な夫人を助けて家族同様に尽くしてくれたこの女性に、安藤は感謝の気持ちからでしょう、このハチ公像を贈ったと伝えられています。この人物の出身地こそが、古河だったのでした。そして、1945年5月の東京大空襲で、渋谷区代々木にある安藤の自宅が爆撃を受けたとき、安藤とその家族とともに、家政を支えたこの人物も空襲の犠牲となり帰らぬ人となってしまいます。ハチ公像は、古河の実家にあったため、幸いにも戦災をまぬがれました。そしてここ古河の地で、ご遺族が形見として大切に保管されてきたのです。

ちなみに、現在、渋谷駅にあるハチ公像は、実は二代目。安藤照の制



忠犬ハチ公像(1933年制作)

作した初代ハチ公像は、戦時中の金属類回収令で供出の対象となり、終戦の直前に鋳潰され失われてしまいました。二代目ハチ公像は、戦後、安藤照のご子息で、同じく彫刻家である安藤士氏が、初代ハチ公像をもとにして制作したものです。松井氏によれば、現時点で、はっきりと存在が確認されているハチ公臥像は、天皇家に納められたもののほか数体あるとのこと。ひとつは戦地から戻った士氏が、空襲に遭った自宅の焼け跡から見つけた、焼けて前脚の溶けたもので、いまひとつが古河にあるこの銅像であるといえます。本品は当初の姿がとどめられている完成作品として、大変貴重なものであるといえるでしょう。

戦争の悲しい数々の記憶を背負いながら、苦難の時代をくぐりぬけて今に遺されたハチ公像。いまや美術工芸品としての価値を超えてかけがえのない文化財となったハチ公臥像は、古河の歴史のひとつに刻まれたといってもよいでしょう。

古河歴史博物館学芸員 倉井直子

## 文化の扉

## はんこ ～秀吉の朱印～

現在、一般的に使われている「はんこ」という語を漢字で書くと「判子」となります。「はんこ」は印章(印鑑)のことですが、現在の日本では個人・役職・団体のしるしとして公私の文書に押し、その責任や権威を証明するものとして重要な位置を占めています。いわゆる「ハンコ社会」たるゆえんです。

三和資料館では4月27日から館蔵資料展「サインとハンコ～館蔵資料にみる花押と印影～」を開催します。紙などに印章を押ししたものを印影といいます。この資料展は古文書や絵画に押された印影や花押に焦点をあてた展示となります。

古河市指定文化財の山川氏中世関連文書には、豊臣秀吉朱印状が2通あります。1通は秀吉から



▲豊臣秀吉の朱印

山川晴重に宛てられた朱印状で、年頭の祝儀として晴重が太刀と銭を進上したことに対する礼状です。もう一つは秀吉から山川菊松(のちの朝貞)に宛てられた朱印状で、歳暮の進物に対する礼状です。いずれも同じ朱印が押されています。秀吉の朱印は印文不明で、糸印を使用したものではないかと考えられています。

糸印とは15世紀に中国の明から生糸を輸入した際に添えられた鋳銅印で、受領書にこの印を押し、先方に返送し、印は返さずに荷受人の手許に残り不用品となり、好事家の蒐集の対象になり、また愛玩され押し印されたりしました。秀吉も糸印愛玩者だったのかも知れません。

三和資料館

古河市にゆかりのある小説や人物を紹介

## 古河文学・人物館

## 匠の技でマルチに活躍 佐江衆一

よく小説家に「〇〇作家(小説家)」と冠をつけることがあります。例えば「純文学作家」「歴史小説家」「推理作家」等々。しかし、まれに、どの冠もそぐわない——作品が多様で、しかもどのジャンルにも傑作がそろう、という作家がいます。

今月は、純文学からエンターテインメントまでマルチに活躍する小説家、佐江衆一氏をご紹介します。

佐江氏は昭和9年浅草に生まれ、宮城県への学童疎開、小山市での生活を経て、昭和22年、旧制栃木中学二年生のときに古河へ転居、以後13年間を古河で過ごしました。「自分らしい生き方を求めて悩み、ようやく小説家になることを夢みて懸命に生きた時期だった」と、氏は古河で



▲佐江衆一氏と近著『あの頃の空』

の青春時代を回想しています。

昭和35年、文芸誌「文藝首都」推薦の「背」で新潮社同人雑誌賞を受賞して文壇デビュー。以後、5回も芥川賞候補となるなど、小説家としてキャリアを重ねます。

平成7年、自身の体験から老親介護問題と人間の尊厳を描いた『黄落』がベストセラーとなり、Bunkamuraドゥマゴ文学賞を受賞しました。この間、歴史・時代小説も手がけ、『北の海明け』で新田次郎文学賞、『江戸職人綺譚』で中山義秀文学賞を受賞、近年ではエッセイでも秀作を著しています。ときに巧緻、ときに重厚、あるいは軽妙洒脱と多彩な小説様式で、読後にしみじみとした余韻を残させる氏の作品——まさに職人芸、匠の技を見る思いです。

古河文学館 秋澤正之

～認知症を正しく理解しましょう！～

高齢化により徐々に増加している認知症ですが、認知症についてはまだまだ誤解も多く、正しい知識を身に付けることが大切です。

認知症は誰もがかかる可能性のある脳の病気です。認知症は生活習慣の改善などで、予防につながり、認知症の発症を遅らせることができると言われています。

また、認知症を発症した場合でも、早期に発見し、適切な治療やケアをする事で、進行を遅らせたり、症状を軽減する事が可能です。

### ●認知症の予防に努めましょう！

- ◆青背の魚や野菜や果物を多く食べるようにしましょう。
- ◆適度な運動習慣を身に付けましょう。
- ◆水分を十分に取るようにしましょう。
- ◆頭を使う趣味を持つようにしましょう。
- ◆人とのコミュニケーションを大切にしましょう。



### ●気になることは早めに相談・受診！

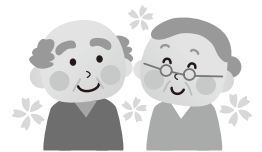
認知症のような症状があっても認知症とは限りません。『何かおかしい』と感じたら早めの相談・早めの受診を、お勧めします。

### ●認知症の〇×クイズに挑戦してみましょう

- Q1：誰もが認知症にかかる可能性がある
  - Q2：認知症は予防できない
  - Q3：認知症は治療できない
- ※正解は24ページにあります。

### ●●● 認知症に関する標語 ●●●

市では認知症をより身近なものとして捉え地域で考えていくために「認知症に関する標語」を募集しました。多くの賛同があり、たくさんの応募がありました。今回は、応募総数432作品の中から選考された受賞作品をご紹介します。



- ☆**最優秀賞** 「認知症 家族と地域で支える両手に 明るい未来」 福島 ユリ子 ※敬称略
- ☆**優秀賞** 「歳とれど 脳トレ 筋トレ 笑顔穫れ」 寺本 寧枝  
「温かい 心で見つめる 認知症」 竹内 ツガ
- ☆**佳作** 「趣味通じ 楽しく予防 認知症」 中里 美保  
「何か変？ 一人考え悩まずに 早めの相談 早めの治療」 片岡 道子  
「お世話になった方だから 今度はみんなで見守り隊」 長谷川 進  
「認知症 寄り添い支えあうのは 地域の力」 栗山 昭子  
「町ぐるみ オレンジリング 心の目」 山中 益子



ご応募してくださった皆さんありがとうございました。

高齢福祉課

# 憩いのパークの魅力



## ネーブルパークの春の花々

春の風も心地よい4月となり、ネーブルパークはご来園のお客さまも多く、にぎやかさを取り戻す季節となりました。

今回はそんな春のネーブルパーク内で見られる花々を紹介します。

この記事が皆さんの手に届くころには、春の始まりを告げるように桜が咲いていることと思いますが、桜と一言で言ってもご存じの通りいろいろな品種があります。一般的に、日本で最も多く植えられているのはソメイヨシノですね。園内にも開園当初植えられたソメイヨシノが成長し、見事に花を咲かせ、ご来園いただくお客さまの目を楽しませてくれます。

その他、山桜やしだれ桜、八重桜と時期をずらし開花するため、しばらくの間、緑に映える淡い白やピンクなどの春らしい身も心も温まる光景を目にすることができます。

その桜ですが、日本では園芸品種が多く、花びらの数や色、

花のつけかたなどの改良を行ったため、固有種・交配種により600種類以上の品種が確認されているそうです。ネーブルパークにもさまざまな種類の桜がありますので、見比べてみるのも面白いかもしれません。

続いての植物は椿です。開花期の長い花ですが、ネーブルパークにある椿は例年1月中旬から5月中旬にかけて赤や白などの花を咲かせ、園内の色彩に華やかさを加えてくれます。全体的に見た目の似たサザンカとは同科同属の植物ですが、一番簡単な見分け方は花の散り方で、椿は花が首から落ちるのに対し、サザンカは花びらが一枚ずつ散って落ちます。椿とサザンカでは開花期が違いますが、ネーブルパークでは椿・サザンカともに見ることができます。

その他ネーブルパークでは、これからツツジやヤマブキ、ボタンなど、次々と植物が花を咲かせる時期を迎え、皆さんを温かく迎えてくれることと思います。ぜひ、ご来園ください。

ネーブルパーク

## 表紙写真



3月2日(土)に古河リバーサイド倶楽部アリーナで行われた「能楽公演」。古河市では、文化協会が芸術講座として地元での能楽講座および国立能楽堂他での鑑賞等を多年にわたり実施し、日本の伝統芸能の普及に努めています。

今回の能楽公演は、能楽文化をもっと身近に感じていただくために実施しました。当日は300人を超える観客。市外からの参加もあり、市の観光振興および地域活性化にも寄与しています。

## 寄付



古河遊技場組合から、市内小学校全児童に、防犯啓発用定規の寄付。

(有)大塚牛乳店(大塚邦男社長)から、古河第一小全児童に、平成25年2月、3月各2回ドリンク型ヨーグルトの寄付。

## 古河市データ

### 人口



(3月1日現在) 住民基本台帳から  
総人口… 146,263人 (-33)  
男……………73,375人 (-10)  
女……………72,888人 (-23)  
世帯数…56,898世帯 (+42)  
( )内は前月比

# わが家のアイドル



もりや えれな  
守屋英怜奈ちゃん (1歳5カ月・横山町)

いつも笑顔いっぱいの英怜奈ちゃん、家族のみ～んながその笑顔に元気もらっています。歌とダンスが大好きで、音楽が流れると手を振りながら体いっぱい踊ってくれるよね。パパとママは毎日、英怜奈ちゃんに癒されています。私たちのところに生まれてきてくれて、本当にありがとう。これからもすくすく成長していてね。大好きだよ!!! (父：英一 母：直子)

22ページの答え(Q1:○ Q2:× Q3:×)

## 今月の料理

豚肉と春野菜の蒸ししゃぶ  
＜高血圧予防食＞



- ①豚肉300gは食べやすく切る。
- ②春キャベツ300gは一口大、タマネギ中1個は8等分、菜の花1束は長さを半分にする。アスパラ4本は3等分、ニンジン2/3本は縦半分の斜め5mm幅に切る。モヤシ2/3袋はよく洗う。春雨50gはもどして食べやすく切る。
- ③蒸し鍋か、ポットプレートに材料を並べ入れ、水を適量注いで蓋をして、火にかける。蒸気が上がった後火が通るまで7～8分蒸す。
- ④ポン酢大さじ4と豆乳大さじ6を混ぜ合わせたタレにつけながらいただく。 (4人分)

＜1人分＞

エネルギー=306kcal  
タンパク質=17.7g  
脂質=15.7g  
カルシウム=106mg  
食塩相当量=1.2g



(食生活改善推進協議会)

日々奮闘!



## 子育てアドバイス

「お外あそびを楽しもう」

- 思いきりからだを動かすことで丈夫になる。
- いろいろな刺激を受けることで心を豊かに育てる。
- 友達や地域の人の関わりの中で社会性を育てる。
- からだを動かすことでお腹がすき、食欲がわく。
- 適度に疲れることで、夜もぐっすり眠れる。
- 親も外に出ることで気分転換になり、子育て仲間と知り合うこともできる。

外あそびは



春になり、少しずつ暖かくなってきました。これからは外に出掛けるのに、とても心地よい季節です。子どもたちは、お外が大好き! 元気いっぱい遊びましょう。小さいころから、からだをたくさん動かして遊ぶことは、とても大切なことです。さまざまな運動機能の発達を促すのももちろん、努力や工夫をする心も鍛えてくれます。



上辺見保育所

など、日常生活のリズムを整え、心身ともに健康で過ごすためにも大切なことです。外で遊んで泥んこになった後のお洗濯は大変ですが、たくさん遊んだ後にぐっすり眠っているかわい寝顔が見られるのは、大人にとっても、幸せな時間です。古河市には緑あふれる自然がたくさんあります。おうちの人も童心にかえって、お子さんと一緒にお外あそびを楽しんでみてはいかがでしょうか。

平成25年4月1日発行

●発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248  
●編集/広報室 ●ホームページ/ <http://www.city.furukawa.lg.jp/>

古河市役所 ☎0280(92) 3111